



みつけた!



初春に豊穡を願う砥鹿神社の田遊祭

一宮町の砥鹿神社は里宮とも呼ばれ、本宮山頂にある奥宮とともに歴史が古く由緒ある神社で、多くの参拝客が訪れます。この砥鹿神社で、毎年1月3日に「田遊祭」という五穀豊穡たあひささいを願う農耕神事こくごくほうじょうが行われるのをご存知でしょうか。境内の本殿前にサカキの葉を敷き詰めて田んぼに見立てたものを作り、そこで苗代づくりから田植え、稲刈りなど一連の作業を10の行事に分けて行うもので、春の耕作始めとして豊穡を願う祭礼です。

この祭礼では、地域の方々が代官や田植えを指揮する田主、田を耕す田人などにふんします。代官の「田打ち」の呼び掛けから行事は始まり、田人は鍬くわに見立てたサカキの枝を持ち「よおい、よよい」の掛け声を掛けながら、田んぼを打ちつつ進みます。

10の行事にはそれぞれに唱える言葉や掛け声があり、その内容はとてもユニークなもので、聞いているだけで思わず笑みがこぼれてしまいます。初詣を兼ねてぜひ砥鹿神社の田遊祭にお出掛けください。

